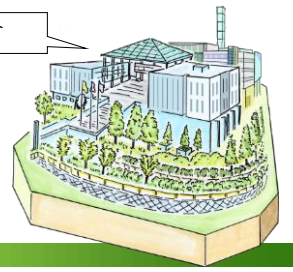


来館者は4階での検温・マスク着用をお願いします

2020(R2)年 7月 No299 (前回3月以来の発行)

しみんけんきゅうニュース



発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

長らく閉館していましたが、 コロナ対策をして再開しています

【目次】

- P2 新 PT 紹介
- P3 環境出前講座について
- P3 学習支援 子どもたちの感想
- P4-5 エコ体験 PT 特集
- P6 新米所長からの挨拶
- P7 市民研究所通信
- P8 研究所 7-8月の予定



今年は4月の委嘱式を中止し

6/6にR2年度の最初の
代表者会議を開催しました

研究所はぼちぼちです

事務所出勤しています

工房再開

貸室再開

焼却炉通常稼働
(見学は中止)

夏フェスタ開催
(フリマなし)

家具抽選販売
実施中

破砕通常稼働
(見学は中止)

あげもら再開
ショッピングエリア
7/10~

R2年度 研究所活動内容

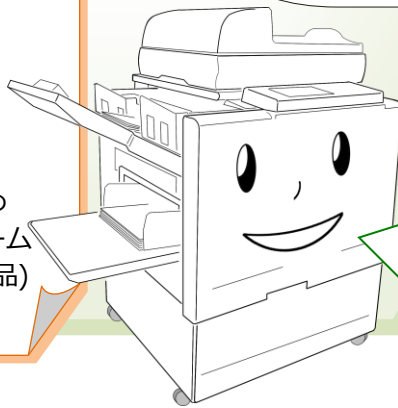
- ①手作りおもちゃ PT
子どもたちに廃品利用による啓発
- ②エコ体験 PT
水・プラ等 学校での講座実施
- ③市民とお店 PT
食品ロスを取り上げる
- ④吹田ごみ物語 PT
出版に向けて編集
- ⑤環境をしらべよう PT
河川調査
- ⑥SDGs 啓発 PT
掲示とゲーム作り
※エコイベントは必要に応じて実施

R2年度 活動方針 です

R2年度 環境出前講座

- ①手作りおもちゃ
- ②紙すき
- ③水の話
- ④ごみ分別ゲーム
- ⑤ふろしき活用
- ⑥エコゲーム
- ⑦電気の話
- ⑧エコイベントの勧め
- ⑨エコなお買い物ゲーム
- ⑩すごろくゲーム(食品)

環境出前講座 9月再開予定(学校の状況による)
環境スクールは9月開校の予定です。
万博ごみゼロは11/7です
R2年度フォーラム 12月開催予定
環境啓発動画コンテスト 8月より受付開始



当ニュースは次回で
300号を迎えます。
過去の資料・思い出話等
ありましたら、
よろしくお願いいたします。



私は海中に住むアマビエと申す者也
病流行らば早々に私を写し人々に見せよ

コロナ対策により、4月より閉館していましたが、
順次再開しています。再開状況はHPに掲載していきます→

R2年度の委嘱式は中止しましたが、今年度も表記の
活動を行う所存です。今後ともごみ減量・環境へ
のご理解ご協力をお願いいたします。



新プロジェクトチーム 紹介

今年度新たに2つのプロジェクトチームが仲間入りしました。チームの目指していることと、活動のようすをお知らせします。

身近な環境を調べよう

プロジェクトチーム

(年間活動計画書から)

研究テーマ

吹田市及びその周辺地区の河川や池の環境を調べ、特にごみを少なくしていくための啓発活動を行う。

活動

河川環境調査マニュアルを作成し、吹田市の小中学校、環境団体、自治会等に呼びかけて調査を依頼する。その結果を河川環境マップとしてまとめ、しみんけんきゅうニュースへの掲載や各学校向けのパンフレット等を作成し、河川ゴミ減量の呼びかけを行う。環境学習発表会での報告なども考えていく。

(活動のようす)

1月16日にPT準備会をしました。阪急千里山駅に集合して、上の川から糸田川にかけて歩き、環境調査について具体的にどんなことができそうかを考えました。その結果、令和2年度については、糸田川に焦点を絞って調査を進めることになりました。

2月28日、3月21日と2回、定例会をもち、糸田川調査についての1. 方法 2. 対象 3. 調査項目 4. 観察時期等を決め、「川の観察チェックシート」の作成し、その実施にあたっての具体的な準備について確認をしました。

本来は、4月から近隣学校、各団体に依頼の活動を始める予定でしたが、新型コロナウイルス感染状況の悪化により、いったん作業は休止しています。

今後は、学校の再開状況もみながら、活動をスタートしたいと考えています。

SDGs 啓発プログラム作成

プロジェクトチーム

(年間活動計画書から)

研究テーマ

SDGs 啓発のためのプログラムを作成する。

活動

1. SDGs について、情報収集を行い、プラザで紹介する。
2. SDGs を啓発するためのゲームの開発を含め、啓発プログラムを作成する。

(活動のようす)

1月25日にPT準備会をしました。そこでは、主に小学生向けの環境学習プログラムの作成をする方向で考えていましたが、2月29日の定例会で、資料を持ち寄ったところ、参加者の関心の中心にSDGsがあることがはっきりしてきて、それならSDGsを中心にして、啓発プログラムを作成してはどうか、という方向になりました。持ち寄った資料には、中学校での調べ学習の取組みや、ゲームを取り入れた啓発の講習会のことが話題になり、今後は、情報収集からその紹介、そしてかんたんな子ども向けのゲームの開発に取り組んでいこうということになりました。

市民研究の中でも、SDGs についての理解があまり深まっていないと感ぜられることもあります。いろいろな立場の人に、SDGs をわかってもらえるような活動を目指しています。



環境出前講座について

これまで、当プラザは、主に児童・生徒を対象に学校で行っていた「環境学習支援」、市民を対象に公民館などで行っていた「出前講座」などを実施してきました。また、平成30年度からは、小学校4年生が施設見学後に行う体験活動を始めるなど、多種多様な活動を行っています。しかし、内容としては共通のものであり、市民の皆さんから見て、わかりやすくするために「環境出前講座」として再スタートすることになりました。

この講座は、環境問題について楽しく体験することで、身近な環境問題について考え、行動するきっかけにしてもらうことを目的にしており、対象を①児童・生徒・学生 ②教育系大学生 ③現職教職員 ④広く市民 として、今後はこれからの環境教育を担う人材育成にも力を入れたいと考えています。

現在、実施している講座としては小学校のクラブ活動への支援が多く、「エコクラブ」「エコで遊ぼうクラブ」として活動しています。今年度は9校に9～10回程度の支援を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの学校で9月から10月に開始となりました。感染予防の対策を徹底して、この活動を進めていきたいと考えています。

環境学習支援 子どもたちの感想 【令和元年度】

(ふろしき体験)

・真結びができなかった時、やさしくわかりやすく教えてもらってうれしかったです。

(エコなお買い物ゲーム)

・エコなお買い物ゲームをして、こんどお店で同じことをしたいと思う。とても楽しかった。

(エコゲーム)

・前に出て自分の考えを発表するのがとても良いと思う。皆とエコへの感じ方を共有することができた。

(水の話)

・今日の学習で、日本は水にめぐまれている国だということが、よく分かった。

(エコクラブの感想)

・一番かんきょうにいいと感じたのはヤマザキパンの事です。理由はかんきょうのことを考え、パンの耳を捨てずにラスクを作るという考えがかんきょうにいいと思ったからです。

・特に楽しいのは工作です。工作で楽しかったのはビュンビュンゴマです。ありがとうございました。

(エコで遊ぼうクラブの感想)

・ぼくが一番楽しかったのは、紙すきです。ハガキを作ったことが楽しかったです。あんなリサイクルの方法があるんだな、と思いました。



プラスチックごみを減らそう！

エコ体験 PT 生野俊介

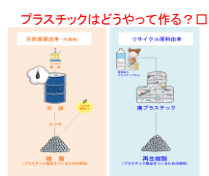
(1) はじめに

エコ体験 PT では現在4つの教材で環境出前講座を小学校中心に行なっています。それぞれで直近の情報を織込みながら改善を図ってきていますが、昨今世界で注目され、行動が起こされているプラスチックごみ削減について集中的に触れている教材はありませんでした。これだけ注目を浴びている問題に対して触れていないのは環境改善を目指すボランティアグループとして如何なものか、との認識から、現在使用している教材である「水の話」の中にプラスチックごみによる海洋汚染を入れ込み、或る小学校で実施をしてみました。残念ながら、実施した本人としては、講話が長くなりすぎ、話の焦点がぼけてしまうなあ、との反省しきりでありました。定例会でメンバーに相談したところ、独立した教材として立ち上げることがベター、との意見が多く、結局のところ「言出しっぺ」の私が教材案を作成することとなりました。研究報告書に記載した内容ではありますが、できるだけ多くの皆様方の忌憚のないご意見をいただきたく思いしみんけんきゅうニュースにも掲載することといたしました。

(2) 教材案

これまでの授業の経験から、子ども達がプラスチックの原料が石油であることを知らないで「プラスチックとは？」から始めました。

- ①プラスチックは原油から作られるナフサを加工してできたもの。
- ②多くが柔らかくて様々な形にすることが可能。



- ③生活の中にプラスチックが数多く使われていることをやさしく説く。右図参照。



次に、これだけ便利なプラスチックが何故今世界中で問題（悪者扱い）にされているのだろうか？それは、私たち人間がプラスチックをどのように扱うかによる、ということをお訴えかけます。つまり、プラスチックは「ごみ」にするととても厄介なものであることを理解しようということです。プラスチックが分解する（土に戻る）には長い時間がかかります。例えば、プラスチックボトルだと450年、ビニール袋でも10~15年、タバコのフィルターは1~5年もかかります。自然にできたリンゴの芯は2ヶ月、バナナの皮だと2~5週間で分解して土に戻ります。そんな厄介者のプラスチックごみが地球海に流れ出し海が大変なことになっています。海岸がプラスチックで汚れ、小さなプラスチック片を魚が飲み込み死んでしまう、といったことが起きています。このプラスチックゴミがどこから来るか、と言えば、残念ながら私たちの身の回りのプラスチックごみが原因なのです。

(写真4-1 千二地区の自動販売機のゴミ箱)



こういった街中でのゴミの散乱が海に流れ出し海洋汚染につながっていることを理解してもらうために下記イラストを活用して説明することとしています。

街のプラごみが川から海に流れ、紫外線などで小さくなってマイクロプラスチックになり、魚の体内に入り込んでしまいます。この状況を打開するために

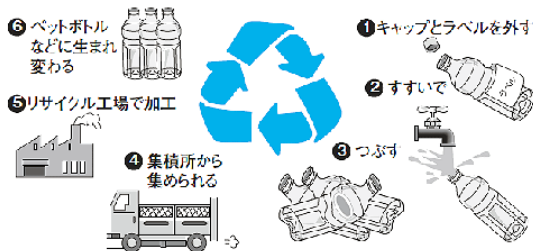


世界的にプラスチックゴミ削減活動が起こっています。マクドナルドでのプラスチックストロー廃止はその一例であり、私たち市民もできることから始めていく必要があります。先日、須磨海岸に行って海岸のプラスチックゴミの状態を見て、ゴミ拾いを行い、砂の中のマイクロプラスチックを探し出す実験もしてみました。一見きれいな砂の中から多くのマイクロプラスチックが出てきたのは驚きでしたし、それが外国からも流れてくることにもビックリです。



こういった自らの体験を語ることで子ども達の理解も深まる様に思われます。

一方、吹田市ではプラスチックのリサイクルに力を入れており、色々な啓蒙活動を行っています。



上図は吹田市ホームページから借用したものです。使用済みのプラスチックボトルを私達がどのように処理したら良いのか、それがどのような流れでリサイクルされて行くか、が書かれています。こう言ったものを有効に活用し啓発活動に生かして行くことが必要でしょう。

このような現状を子ども達に伝え、最後に「私たちにできることは？」として次のことを訴えかけようと思っています。

私たちにできることは・・・

- ・使い終わったプラスチックの容器は回収ボックスに持っていく (リサイクルボックス)
- ・マイボトル・マイバックを持参する
- ・街や川・海のゴミ拾いを、友達をさそって積極的にする
- ・ゴミを出す時には風に飛ばされないようにする

プラスチックゴミを減らす活動の輪を広げよう！

(3) 体験内容の検討

以上が子ども達への説明内容の流れです。これで、プラスチックは便利なものではあるけれどごみになるととても厄介であること、何故今世界でプラスチック削減が叫ばれているのか、そしてプラスチックごみ削減のために私たちがどんな行動をとれば良いのかをある程度理解してもらえんと思います。一方、エコ体験 PT は各教材で子ども達に何らかの体験を授業の中でしてもらおうにしています。今回のプラスチックごみに関して定例会で皆さんと話し合った結果、海岸の砂を採取し、マイクロプラスチックが入っていることを確認する体験をしてもらおうと考えています。下の写真がそのイメージです。



採取した砂をビーカーの中に入れて、水を入れてゆっくりかき回してマイクロプラスチックがでてくる様子を観察する、という体験で海岸に多くのマイクロプラスチックがあることを実感してもらおうと思っています。砂の採取に行くのがなかなか大変なのですが・・・

(4) おわりに

こういう原稿を書いていると種々思いが出てきます。プラスチックごみはリサイクルして新しいものに生まれ変わるにしても多くの労力・費用が必要ですし、CO2発生源にもなります。リサイクルは大事なことでありますがやはり最後の手段で、その前に「ごみとして出さないこと」が決定的に重要なことだと改めて感じます。今更世の中からプラスチックを無くすことはできませんが、身の回りのものから脱プラスチックを始めることが大事なんでしょう。石油という大事な資源を無駄使いせず、リサイクルの費用や手間を抑えるためにも「脱プラ」ならぬ「節プラ」の生活を考えようかと思いますが、いざ自分の周りを見るとプラスチックだらけで、どう手をつけたらいいのか??? 難問!

新米所長からの挨拶

市民研究所所長 小幡 範雄

土屋所長からバトンを受け取り所長に就任しました小幡です。どうぞよろしくお願ひ致します。私は、2015年度に主担研究員になって本年で6年目になります。まだまだ新米もいいところです。市民研究員のなかには10年、20年をむかえる大先輩も多数おられます。また、市民研究員になられて日の浅い方もおられます。女性もおられます。多くの方は定年を過ぎてはつらつと楽しそうに実践的活動、調査活動に取り組んでおられます。

さて、現在、新型コロナウイルスの感染拡大が大きな話題となっています。志村けんさんが亡くなりました。新型コロナは残酷です。千里リサイクルプラザ・市民研究所も5月連休明けまで休館です。4月7日には新型コロナ特措法に基づく緊急事態宣言を出されました。大阪府も対象地域に入っています。様々な対応策がとられることと思います。

今回の新型コロナの経験（この原稿を書いている時点ではまったく終息は見通せていません。）を前提として、少しでも明るい、持続可能な未来を描けるように願っています。

市民研究所も設立されて25年を過ぎています。2017年には「今後10年を見据えた研究所のあり方について報告書」が作成されました。この報告書には、研究所の目的について、「①市民が主体となって考え・行動する組織をめざす。そのためにも「市民研究所」という名称を継承する。②社会貢献を目的として、研究実践活動を行い「持続可能な社会」の実現をめざす。③地球温暖化の防止等を含む循環型社会の構築をめざし、研究実践活動を行う。④以上の目的達成に必要な範囲で、自然環境やそこに生きる生命（草・木・生き物など）に焦点を当て、生物多様性等に踏み込んだ自然循環に関する研究も進める。」とある。すべてはここに集約されていると思います。

僅か5年ばかりの主担研究員の経験からしても、市民が主体となって考え、行動するという根幹にあたるところは十分になされていると思います。現在、プロジェクトチームは2チームが新規で、

1チームが休止で、全体で6チームです。新設されたPTは、川ごみ調査と周辺の環境を調査しマップにまとめるPTとSDGsを活用した環境学習プログラムの作成PTです。また既存PTのほうも、市民とお店PTが食品ロス削減テーマにその削減マニュアルの作成に向けて活動をしており、エコ体験PTもプラスチック問題の教材に取り組むなどしています。現代的な課題にも対応してきています。

また、月一回の代表者会議も各PTに横断的にかかわるテーマで議論を進めるようになってきている。どのPTも使用できるような環境クイズも作成に向けスタートしています。このように小さな試



みが着実に進められている。

2020年からの市民研究所の姿について最後に述べたいと思います。市民研究所は市民が主体となって考え、行動できるような組織であることこれまでもこれからの変わることはありません。市民研究所の活動テーマも市民目線で議論して決めるのであろう。その際に大学の先生を中心にした主担研究員とも議論を重ねながら決めることも大切です。

今後の市民研究所は、持続可能な開発目標（SDGs）という、「誰ひとり置き去りにしない」新しい壮大な目標を意識して活動しようではありませんか。SDGsには「すべての人々に包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」などの17の目標があります。これらの目標達成を見据えた市民研究員皆さんの活動が展開されることを期待したいと思います。

市民研究所通信

学校・家庭・地域との橋渡しで頑張ります！
市民研究所担当 大森 亘

昨年度、日本の国土の半分近く焼失しているというオーストラリアでの山火事のニュースは、大変大きなニュースとして報じられました。住民の被害だけではなく、コアラやカンガルーなど多くの動物が焼け死んでいる映像を見ると心が痛みます。気候変動の影響により、世界のあちこちで自然災害が毎年発生している現状を鑑み、地球温暖化対策が全世界の喫緊の課題であると考えます。

申し遅れましたが、この度千里リサイクルプラザ職員として、勤務させていただくことになりました大森 亘（おおもり わたる）と申します。第二の人生を皆さまとともにスタートできることを大変うれしく、光栄に思います。足を引っ張らないように頑張っていきたいと思えます。

私事ですが、地球温暖化という言葉が存在しなかった頃、新米教員として環境学習を指導しましたが、何をどのように子供たちに取り組みせたらいいのか、悩んだことを思い出します。

そんなとき、学習支援をしていただいた方々の

市民研究員の皆さまへ 事務局 下村研司

年度初めから新しい気持ちでスタート！ という気持ちでしたが、思わぬ事態で日々バタバタしているところです。

今年度は、新しいPTが立ち上がり、市民研究所にとって一つの転換点を迎えようとしています。スタートダッシュはできませんでしたが、これをじっくり考えるいい機会として今後を活かしたいと思っています。

市民研究員の皆さん、いつものように活動できる日が早く来ることを念じつつ、今はしっかり力を蓄えましょう。

出前授業は、大変興味深く、子供たちも意欲的に学習に取り組むことができました。

地球温暖化対策の第一歩として、子供たちに早期段階で環境学習に触れさせることが重要であると思います。そうすれば、成人になっても身近な環境に関心を持ち、ライフスタイルを環境の視点から見直せるようになっていくと期待できます。子供たち一人一人が、身近なところから取り組んでいけるように、学校・家庭・地域との橋渡しをしていきたいと思えます。

市民研究員の皆様と共に頑張っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



市民研究員の皆さまへ 事務局 橋本洋子

年度末からのバタバタのさなか、突然、5月1日付で業務担当から市民研究所担当への内示をいただきました。

着任早々、いろいろな事業が止まった状態で、引継ぎもままならない状況ではありますが、後半忙しくなりそうな気配をなんとなく感じております。皆様にご迷惑をおかけしないよう必死でついていきたいと思えます。

業務関係のお仕事で、お世話になった方々、これまでとは違った切り口でお世話になります！初めましての方々も、顔だけは見たことあると思っております。皆さまも、改めましてどうぞよろしくお願いいたします。

研究所 7 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	水			
2	木			
3	金			
4	土	第4回代表者会議	13:15~15:00 プラザ講義室1	主担・代表者・事務局
5	日			
6	月	休館日		
7	火			
8	水			
9	木			
10	金	市民とお店 PT定例会	10:00~ プラザ講義室2	
11	土			
12	日			
13	月	休館日		
14	火			
15	水			
16	木			
17	金			
18	土			
19	日			
20	月	休館日		
21	火			
22	水			
23	木	休館日		海の日
24	金	休館日		スポーツの日
25	土			
26	日			
27	月	休館日		
28	火			
29	水			
30	木			
31	金			

研究所 8 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	土	第5回代表者会議	13:15~15:00 プラザ講義室1	主担・代表者・事務局
2	日			
3	月	休館日		
4	火			
5	水			
6	木			
7	金			
8	土			
9	日			
10	月	休館日		山の日
11	火	休館日		振替休館
12	水			
13	木			
14	金			
15	土			
16	日	くるくる夏フェスタ	くるくるプラザ	●
17	月	休館日		
18	火			
19	水			
20	木			
21	金			
22	土			
23	日			
24	月	休館日		
25	火			
26	水			
27	木			
28	金	第2回研究運営委員会		
29	土			
30	日			
31	月	休館日		

は、資源リサイクルセンター（くるくるプラザ）の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。